

き ほ く
鬼北町

第11号
令和8年9月

議会だより

スギから生まれる新素材
改質リグニン



目次

- P2～3 スギから生まれる新素材「改質リグニン」
～鬼北町の森林資源を活かす可能性～
- P4～7 一般質問ダイジェスト
～令和8年3月、6月定例会～（抜粋・要約）
- P8 相続登記はお済みですか
本号の表紙
編集後記



議会HP
QRコード



令和8年6月29日・30日に研究施設などで視察研修を行い
改質リグニンの特徴や鬼北町での可能性について学びました。

1 改質リグニンとは？

改質リグニンは、木材に含まれる「リグニン」を加工してつくられる新しい素材です。

プラスチックや工業材料として使いやすく改質することで、さまざまな製品への利用が期待されています。

日本の森林資源であるスギを原料として活用でき、軽量で強く、耐熱性にも優れた素材として注目されています。

2 期待される特徴



スギを原料に活用できる

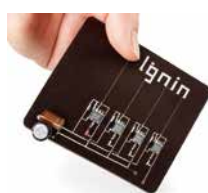


軽量で強く、
さまざまな製品に利用可能



石油由来樹脂に比べ、
CO₂排出量の低減が期待される

3 どんな製品に使われる？



電子基板



ギヤ



ブレーキシュー



ハンドル

4 視察研修の様子



製品を手に取り確認



講義の様子



研究施設の訪問



改質リグニンと鬼北町の可能性

森林資源を活かしたもののづくりと今後の展望

木材の成分を有効活用し、地域資源を新たな産業につなげる可能性について整理します。

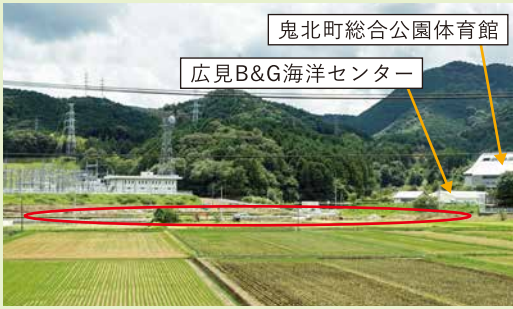
1 鬼北町との関わり

鬼北町の周辺地域には、スギを中心とした森林資源があります。

原料の近い地域での生産は、林業の高付加価値につながる可能性があります。

将来的には2000トン規模の生産を目指す構想が示されています。

木材は幹から樹皮まで、幅広く活用できます。



鬼北町森林資源活用事業施設整備地(永野市)

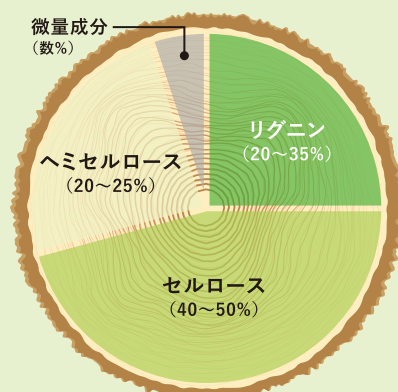


北宇和木材市売場
スギの原木

2 木材の構造

木材は、セルロース・ヘミセルロース・リグニンなどの成分でできています。

リグニンは木を硬く丈夫にする成分です。ただし、樹種や育った環境によって性質が変わるため、工業材料として使うには「性質の安定」が課題でした。そのため、性質が比較的そろいやすいスギを対象に技術開発が進められています。



3 今後の確認ポイント

原料の
安定確保



森林資源の持続可能な確保と供給体制の構築

安全性



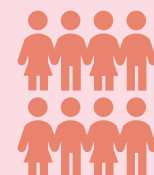
製品の安全性や環境への影響を十分に確認

事業化の
見通し



コストや市場性を踏まえた事業モデルの検討

地域経済への
波及効果



雇用創出や関連産業の活性化などへの影響

一般質問ダイジェスト

※問答全文ではなく、質問概要と答弁で確認された事実を要約して掲載



長尾 慶太

3月・6月定例会で取り上げた
主な質問

①ゼロカーボン計画の進捗管理

質問

年度目標、進捗確認、数値公表が行われているか？

答弁

2022年度CO₂排出量は2013年度比で約36%削減
年度ごとの削減目標は未設定
協議会の点検・評価、年次報告、数値公表は未実施
今後ホームページ等で公表方針

②ガバメントクラウド移行と町民サービス

質問

運用経費、業務効率化、窓口対応、町民サービスへの影響は？

答弁

現行運用経費は令和5年度実績で年約2624万円
令和9年度見込みは年約8763万円
増加分は補助金と地方交付税による財政支援見込み
書かない窓口・対面支援等でサービス向上を図る考え

③交通弱者対策と地域交通の在り方

質問

高齢化・免許返納者増加を踏まえた移動手段の確保、KIHOC A、乗合タクシー、ライドシェア等の施策は？

答弁

現在の施策は一定の役割を果たすが、今後を考えると十分とは言えないとの認識
地域公共交通計画見直しに向け本年度中にアンケート調査実施方針
KIHOC A周知は老人クラブ会合等で説明検討
ライドシェア等は既存事業者との調整を踏まえ検討



程内 寛

6月定例会で取り上げた
主な質問

①三島ふれあいタクシー

質問

三島ふれあいタクシーは、北宇和病院や日吉診療所への往復利用、また、町内の道の駅・大型小売店舗・JAなどへの買い物利用ができないか？

答弁

既存の路線バスやタクシー事業者との共存に向けた調整が必要
国や県などの関係機関と協議を行う必要がある。

意見

いずれの問題も、解決に時間を要する事案なのか疑問に感じる。



②敬老行事

質問

敬老行事は、仕出し弁当配布のスタイルを継続するのか。
また、新しい広見中学校体育館の内覧見学も兼ねて、多くの住民が一堂に会する機会を作れないか？

答弁

対象者の9割が仕出し弁当配布を希望しているため、現在のスタイルを継続する。
敬老行事に限らず、新設された広見中学校体育館を多くの方に見ていただくことは大変良いアイデアであり、特に高齢者に見ていただくことは有意義である。



井上 博

6月定例会で取り上げた
主な質問

① 広報きほく

広報きほくにおいて、各議員の一般質問をなぜ全て掲載しないのか？

議会だよりの発行に伴い、広報誌の掲載内容を見直した。

② 賃貸共同住宅整備事業

若者や子育て世代の移住・定住を目的に、1棟当たり1200万円を補助している賃貸共同住宅について、床面積7.5坪・15畳では狭くないか？
また、移住者の入居世帯数と、現在4棟ある住宅の家賃はいくらか？

床面積は、国で定める公営住宅整備基準で25㎡以上とされており、こうした基準を参考に補助対象としている。
移住者は8世帯が入居しており、家賃はおおむね4万円台後半から7万円台前半の範囲と伺っている。

③ 鬼北町における鳥獣被害対策

愛媛県や南予地域で鳥獣被害が発生している中、本町ではどのような対策を行っているか？また、狩猟免許や鉄砲保持者の人数は？

鬼北町鳥獣被害防止計画に基づき、猟友会をはじめ関係機関と連携し、国・県・町の補助制度を活用しながら総合的に対策を推進している。
猟友会は112人で、そのうち銃のみの資格保持者は20人、銃・わなの2つの資格保持者は38人。

若い役場職員で仮称「鬼の鉄砲隊」を組織し、月に数回駆除作業に従事できないか。役場内でアンケートを取ることや、町として補助することはできないか。



中山 定則

6月定例会で取り上げた
主な質問

① 行政手続きのオンライン化

住民の利便性向上と行政の業務効率化を目的とした行政手続きのオンライン化について、本町の現状とロードマップを質問

マイナポータル「びったりサービス」の利用はゼロ
愛媛電子申請システムの利用は、手続き項目が少なく、利用も少ない
行政手続きオンライン化のロードマップは未策定

びったりサービスで利用できる手続きの周知、愛媛電子申請システムの利用項目拡大、オンライン化に向けたプロジェクトチーム設置とロードマップ作成を提案

② 宇和島圏域定住自立圏共生ビジョン

宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町で作成した宇和島圏域定住自立圏共生ビジョンについて、これまでの実績と今後の方針を質問

移住フェアについては、4市町単独では十分な集客が見込めないため、令和6年度は愛媛県主催の移住フェアで4市町の出店ブースを隣接させる取り組みを実施
令和7年度からは、愛媛県南予市町で実施する事業を活用
観光活性化については、実施主体であった宇和島圏域交流促進連絡協議会が令和3年度に解散したため、取り組みは終了

令和10年度からの第3期計画に、スポーツ合宿や観光サイクリング事業など、第1期計画で実施した観光活性化の取り組みを検討するよう提案



兵頭 稔

6月定例会で取り上げた
主な質問

① 水道施設の更新方針

質問

老朽化施設の更新・耐震化について、水道管等の交換周期が早すぎないか？

答弁

近永浄水場、新広見浄水場、近永第2水源から近永浄水場への導水管が対象生活への影響が大きい箇所を前倒しで更新する方針
浄水場施設は、補強により延命を図り、段階的に更新
直ちに水道料金を引き下げる予定はない。

② 日吉地区の公共施設

質問

日吉中央集会所と旧教員住宅の今後の処理方針を質問

答弁

日吉中央集会所は築50年以上経過しており、解体の可能性も含め検討する方針
旧教員住宅は、当面現状維持で管理し、令和12年度までに活用方法を検討
集会所閉鎖に伴う避難所機能の具体的な代替策は示されていない。

③ 町所有バスの安全対策

質問

町営の通学バス・マイクロバスの乗務員資格と健康管理体制を質問

答弁

大型2種免許が法的に必要な業務ではないが、現状では全職員が大型2種または大型1種免許を保有。
健康診断は年1回実施している。

④ ふるさと納税の増加要因

質問

令和7年度のふるさと納税額が、令和6年度の1.6倍となった要因と今後の方針を質問

答弁

米需要の高まりに加え、町内の米農家4事業者が新たに参画し、品ぞろえを拡充したことが要因
今後は米に偏らない返礼品の充実、リピーター確保、ページ改善、新規事業者の獲得を進める方針



今城 喜久生

6月定例会で取り上げた
主な質問

① 鬼ヶ城

質問

歴史的・自然遺産である「鬼ヶ城」について、宇和島側の「鬼ヶ城山系」ではなく、「鬼北町の鬼ヶ城」として呼び名を取り戻すことへの町の見解を質問。また、成川ルートの橋の破損や、等妙寺尾根ルートの整備について質問

答弁

鬼ヶ城にまつわる歴史や伝承は、本町の歴史的資源と認識している。
今後も鬼北町らしさを発信する上で、歴史的・文化的背景を大切にしながら活用していく。
登山ルートについては、鬼ヶ城や鬼ヶ城連山を活用する必要性は認識しており、もう少し時間をいただきたい。

意見

鬼ヶ城は、前泉小学校校歌にも歌い込まれたように、地域の暮らしに深く関わる身近な山であり、鬼北町の「鬼」の由来にも関係する大切な歴史資源である。本町の未来のため、鬼ヶ城の活用に関心を入れていきたい。





入田 伸介

3月・6月定例会で取り上げた
主な質問

①大雪の際の除雪体制

質問 令和7年2月の大雪で、除雪がスムーズに進まなかった原因と、今後の問題解決について質問

答弁 倒木による停電復旧の優先、除雪後の再降雪、数百本の倒木処理により作業に遅れが生じた。
オペレーター数は足りており、タイヤチェーンの予備確保、融雪剤の追加購入、建設業者への依頼で対応する。また、住民への説明に的確に應じるため、責任者が現場を確認する体制を見直す認識が示された。

②ドローンをもちいた災害時の対応

質問 大規模災害時、孤立予想地区への支援物資輸送について、町が自ら行える手段を検討すべきではないか？

答弁 町所有のドローンは災害時の一時的対応に使用し、長期支援は自衛隊に求めるとの答弁。能力の高いドローン配備や国家資格取得に向けた検討、町内ドローン業者との災害時協定についても今後の課題とされた。

③町内の住環境

質問 賃貸共同住宅整備事業と空き家対策との整合性、公営住宅家賃の高騰による退去の課題について質問

答弁 賃貸共同住宅整備により空き家活用が進まなくなる危惧はあるが、若者の住まい確保を優先した。
所得制限措置の見直しは必要との認識はあるが、公営住宅法の制約がある。住環境や移住コーディネーターの在り方も含め、重く受け止め取り組む。



大川 正展

6月定例会で取り上げた
主な質問

①頻発する山火事への対策

質問 全国で山林火災が頻発する中、ドローンや小型クローラー運搬車を活用し、消防団の負担軽減を図れないか？
また、八幡浜市に導入されたクローラー消防車を本町にも導入できないか？

答弁 ドローンは、現在3名の職員が講習を修了しており、今後、職員・消防団員あわせて10名程度を対象に国家資格の取得を進める。
山林火災では、地形による風や熱風で状況が変化するため、中継ポンプとホース連結による消火の方が危険度の少ない対応と考える。
林業事業者が所有するクローラー車両との連携は、消防団と相談する。
クローラー型ではなく、様々な道路・通路に侵入可能な小型車両の貸与を決定した。



鬼北町 物資輸送ドローン



ドローン操作説明会

議員研修

相続登記は お済みですか？

6月30日の議員研修で、所有者不明土地の解消に向けた相続登記の義務化について説明を受けました。不動産を相続した方、過去に相続したまま名義変更をしていない方は、確認が必要です。

なぜ義務化

されたの？

登記簿を見ても所有者が分からない「所有不明土地」が増えると、災害復旧、道路整備、空き家・農地・山林の管理などに支障が出るおそれがあります。相続登記を進めることは、地域の土地を次世代へつなぐ大切な手続きです。



相続登記が義務化 されたなんて、知らなかった！

不動産を相続したことを知った日から
3年以内に登記
することが義務に
なったよ！

不動産登記推進イメージキャラクター
「トウキツネ」

義務化前に 相続した不動産 も対象だよ。

え〜！
いますぐ登記
しなくちゃ！

令和6年4月1日から「相続登記の義務化」がはじまりました。正当な理由なく義務に違反した場合、10万円以下の過料が科される可能性があります。所有している土地や建物の登記簿をいま一度確認し、未登記であれば相続登記していただくをお願いします。

詳しくは法務省ホームページへ
かならず相続登記

政府広報 | 法務省 あしたの暮らしをわかりやすく

出典：政府広報制作オンライン「相続登記が義務化されたなんて、知らなかった！」

本号の表紙



「四万十・源流広見川」川上り駅伝大会が一般の部 20 チーム、女子の部 7 チーム、鉄人の部 17 名で実施され、衆議院議員、愛媛県議会議員、鬼北町議会議員がチームを組み、地域の皆さんとともに参加しました。

広見川上り駅伝は、鬼北町の自然や地域のつながりを感じられる行事です。議会としても、こうした地域行事への参加を通じて、町民の皆さまと交流を大切にしていきます。

四万十・源流広見川上り駅伝大会 議員連盟チーム記録 一般の部17位 2時間22秒

区間	走者名	区間記録
1区	山本 太一	23分46分
2区	兵頭 稔	9分36秒
3区	松岡隆太郎	14分28秒
4区	入田 伸介	11分07秒
5区	高山 康人	18分49秒
6区	越智 敦也	11分32秒
7区	程内 覺	16分33秒
8区	長谷川淳二	14分31秒

選手の皆さん、日差しが強く暑い日の中、過酷なコースに挑戦していただきありがとうございました。

議会広報常任委員会

委員長 兵頭 稔
副委員長 今城喜久生
委員 入田 伸介
委員 長尾 慶太

編集後記

今回は、改質リグニンの可能性や相続登記の義務化など、町の将来や町民生活にかかわる内容も取り上げています。限られた誌面ではありますが、議会で何が話し合われ、町がどのように答えたのかを、できるだけわかりやすくお伝えできるよう編集しました。